

報 告

2018年10月~12月支援分

〈バングラデシュ〉

●トイレ寄付

- ・尼崎市立塚口中学校生徒会様よりカパシア郡の学校ヘトイレ2基
- ・甲南女子「世界子ども基金クローバー会」様よりカパシア郡の学校ヘトイレ4基

●その他の寄付

- ・尼崎市立塚口中学校生徒会様よりYURIKOエンゼルスクールへ図書200冊
- ・甲南女子「世界子ども基金クローバー会」様よりカパシア郡の学校へ机とイス10セット

〈国内活動〉

- 12月にさいたまのJR浦和駅前、大阪のJR天王寺駅前街頭募金を行いました。多くの方々にご協力いただきありがとうございました。

お知らせ

会員総会 3月8日(金) 13:30~

会員の方には後日案内をお送りしますので、ご出席下さいますようお願いいたします。

イベント情報

1/20 (日) ニューイヤーコンサート2019
~バングラデシュに学校を建設しよう~

場所: 伊丹アイフォニックホール

時間: 14:00 開演

内容: コーラス/混声合唱団「エンゼル」

<友情出演> フラダンス

「フラ ハラウ オ カレイレファ」



入場無料 募金のご協力をお願いします

4/10 (水) 春のチャリティバザー

場所: 本協会ボランティアセンター (伊丹市)

時間: 10:00~14:00



●チャリティバザーにご協力ください●

バザーで販売する品物のご提供をお願いしています。食器・なべ類、寝具、タオル、衣料、食料品、石鹸、カバン、おもちゃなどいつでも受け付けています。ご近所でしたら引き取りに伺います。事務所までご連絡下さい。

☆取り扱っていないもの☆ 大型家具、電化製品、使用済み食器等

編集後記

「みんなでトイレ寄付するために頑張ります」ある学生がそう言って大学祭や近くのフリマに仲間と一緒に出店してくれました。「最近の若者は…、自分達が若かった頃は…」良く聞かれますが、…に繋がる言葉は何か? 彼に出会って、私のセリフはどちらも「捨てたもんじゃない」になりました。

2019年 行事予定

1月現在

1月	20日(日)	ニューイヤーコンサート2019	伊丹アイフォニックホール	伊丹市
3月	21日(木)~24日(日)	チャリティ絵画展	ギャラリー六軒茶屋	宝塚市
4月	10日(水)	春のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市
	17日(水)~24日(水)	スタディツアー	バングラデシュ	
6月	9日(日)	楽しいボランティアひろば	本協会ボランティアセンター	伊丹市
	21日(金)~27日(木)	スタディツアー	バングラデシュ	
8月	3日(土)~10日(土)	ファミリーツアー	バングラデシュ	
10月	23日(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市

※その他詳しいことは、事務所までお問い合わせ下さい。

会員募集

本協会の活動は皆さまの会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員 年額1口 6,000円

特別会員 年額1口30,000円

●DCEF会員(教育里親)

1か月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。

郵便自動払込方法も受付けています。

郵便振替・口座番号
01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよろしくお願いします。

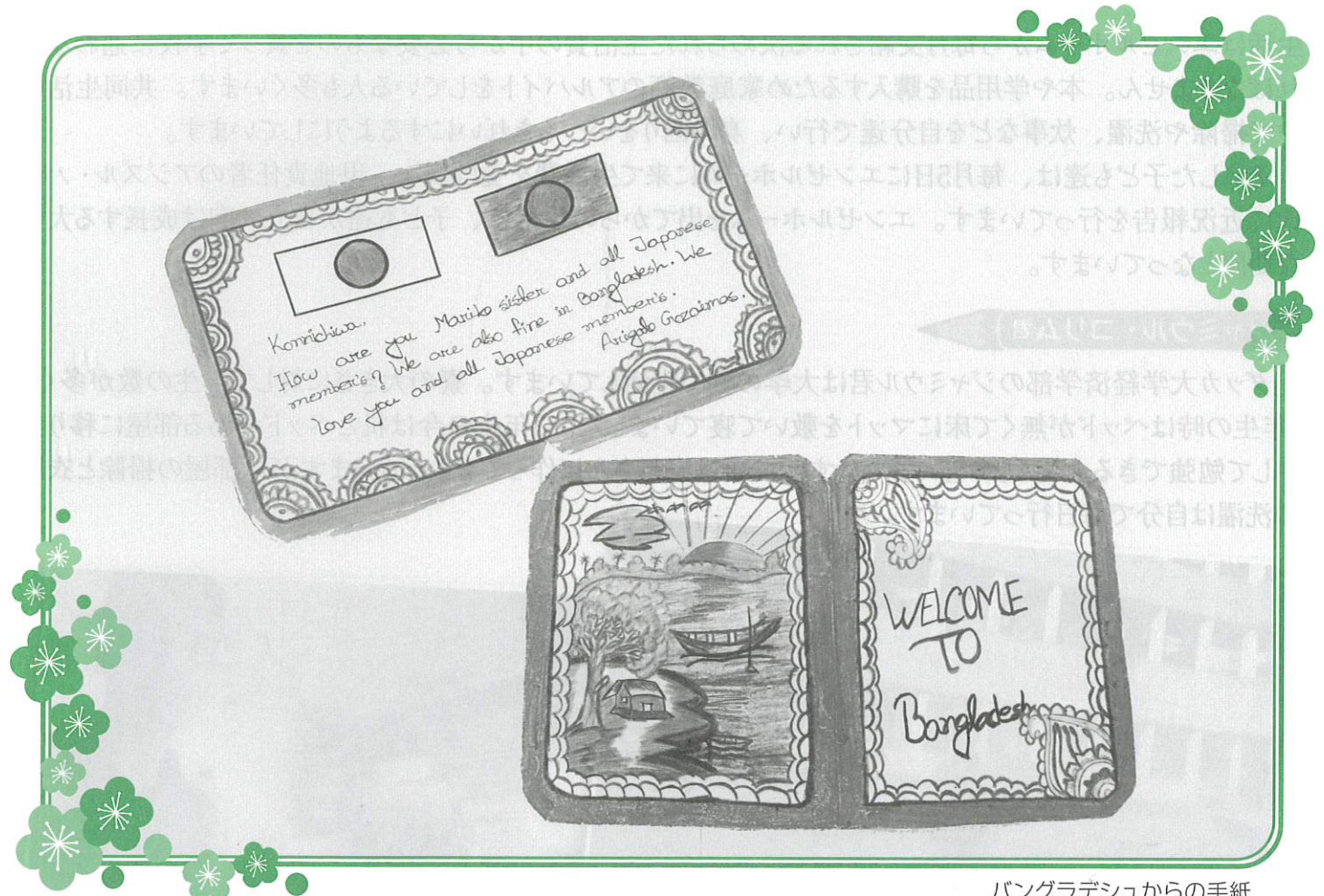
会員数: 一般会員 698名

DCEF会員 725名

(1月1日現在)

ANGEL NEWS

通巻186号
2019.01



バングラデシュからの手紙

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。国際エンゼル協会は今年で37年を迎えます。多くの皆様にご支援いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昨年のことですが、チャリティバザーにボランティアに来てくれた青年から感想文が届きました。「僕は正直、ボランティアが嫌いでした。働いたのにお金がもらえないなんて、やる意味があるのかなと思っていました。けれどお金に換えられない、何か素晴らしいものをいただきました。人から感謝されるのは、こんなに嬉しいものなんだと初めて気付いた気がします。何百人が力を合わせて協力し、一つの事を成し遂げる。とても感動しました。本当にありがとうございました」と。

前代表は私達に「人は誰かの役に立ちたいと願っているのです。又、人は誰かの役に立つときに一番輝くのです。そのことを子ども達に伝える教育こそ本物といえるのです。それには大人の私達が生き生きと輝いて生きる時、その後ろ姿を見て子ども達が夢と希望を見出すのです」と話していました。今年も世界の子供達に夢と希望を与えられる活動でありたいと思います。どうぞご支援ご協力お願いいたします。

代表理事 東村 眞理子

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者



特定非営利活動法人

国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504 FAX.072(784)4608
Home Page ● <http://www.angel-ngo.gr.jp>
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp

エンゼルホームを出て進学し自立を目指す子ども達

バングラデシュで本協会が1986年から運営している児童養護施設「エンゼルホーム」では、中学校を卒業した子ども達はそれぞれ高校・短大・大学・専門学校などに進学し、それと同時に学校の寮や借家などホームの外で生活しています。

エンゼルホームで生活している間は食事や衣服、学費など生活面の心配はありませんが、寮や借家での生活はエンゼルホームから毎月支給される決められた生活費の中から必要なものを買って学校に通わなければなりません。本や学用品を購入するため家庭教師のアルバイトをしている人も多くいます。共同生活の中で掃除や洗濯、炊事などを自分達で行い、身の回りをいつもきれいにしています。

そうした子ども達は、毎月5日にエンゼルホームに来て生活費を受け取り、現地責任者のアジズル・バリ氏に近況報告を行っています。エンゼルホームを出てからの生活は、子ども達が自立に向け成長する大切な期間となっています。

ジャミウル・コリム君

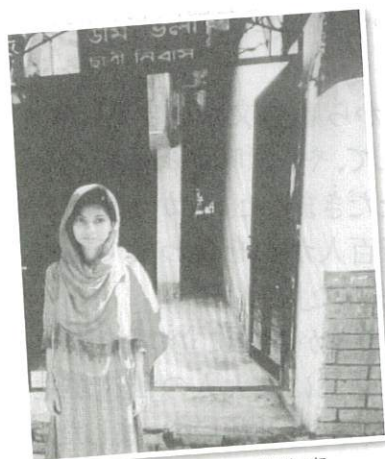
ダッカ大学経済学部のジャミウル君は大学の寮で生活しています。寮の大きさに対して学生数が多く、1年生の時はベッドが無くて床にマットを敷いて寝ていました。3年生の今は机とベッドがある部屋に移り集中して勉強できるようになり喜んでます。食事は寮母さんに作ってもらっていますが、部屋の掃除と衣服の洗濯は自分で毎日行っています。



ダッカ大学の学生寮



ジャミウル君の勉強部屋



アスマさんの学生寮

アスマ・アクタさん

アスマさんはダッカのC.R.Pシャバール専門学校の病理学科4年生で、学校の寮の1部屋に4人で生活しています。食堂があり食事はそこでしています。彼女は小さい頃から家でお父さんが病気で長い間苦しんでいるのを見て、将来は医者か看護師になりたいという夢を持っていました。その夢を叶えるため、医療の学校で頑張って勉強しています。

エンゼルホームの子どもの人数
(2018年12月現在)

敷地内	男子20名	・	女子20名
敷地外	男子 9名	・	女子 5名
合 計	54名		

日本で感じた皆さんの大きな愛

アイシャ・シッディカ (25歳)

私は小さかった頃、歌と踊りのレッスンが大好きでした。学校ではもちろんエンゼルホームでもレッスンがあるときは必ず出席していました。そして日本の皆さんがツアーで来られた時に、歓迎会で皆さんにダンスを披露するのが楽しみでした。また皆さんから責任感を持つことや良いふるまい、根気やマナーなど多くの事を学びました。

SSC試験にパスした後、ガジプールの有名な高校に入ることができました。その時母に「エンゼルホームで生活できていなければ、今のあなたはないのよ」と言われました。私はエンゼルの皆さんに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。その後大学に合格し検眼学科で学びました。高額な授業料でしたが、国際エンゼル協会にずっと支援していただき無事卒業し、検眼医として仕事につくことが出来ました。

この度日本に来ることができ本当に感謝しています。日本に来て、チャリティバザーにも参加しました。ボランティアの皆さんが一生懸命バザーをしたり、その準備をしている姿を見て、どれだけ大変かというのを知りました。

バングラデシュに戻ったらエンゼルホームのために出来ることを精一杯やりたいです。日本での経験は今後の自分にたくさんの勇気をもらうことができました。また海外で博士課程を取り、仕事をして母や妹達を養っていきたいです。そして十分な余裕ができたなら、貧しい子ども達のために孤児院やモスクを作りたいです。これからも最善を尽くしていきたいです。

2000年エンゼルホームに入所、2017年2月眼科看護学校卒業。ブータン・インドネシア・ネパールに短期研修など経験し、現在 PGホスピタルに勤務。2018年10月より3か月間の研修の為来日。



No.30

エンゼルホームの子ども紹介

イスマイル君
Md. Ismail Sarker
(17才)



イスマイル君は5才の時に父さんを病気で亡くしました。その後、彼のお母さんは9人の子供をかかえて生活状況は大変厳しく、彼は7才の時にエンゼルホームで生活することになりました。

スポーツが大好きな彼は学校から帰るとみんなとよくサッカーをしています。運動神経抜群で足が速く、2018年県大会の走種目で1位になりました。また、彼の所属するハンドボールチームも県大会で優勝しました。

これからも得意なスポーツや勉強に精一杯がんばって活躍してください。

◎イスマイル君にいろいろ質問をしました

- Q 一番好きな科目は・・・算数
- Q 好きなスポーツは・・・バスケットボールとサッカー
- Q 将来の夢は・・・電気技術者
- Q 日本について知ってること・・・桜がきれい・地震が多い
- Q 嫌いなこと・・・小さい頃から木登りが得意でしたが、ある時大きな木に登っていて折れた枝が頭に落ちて怪我をしてしまいました。それから木登りが嫌いになりました。

楽しい子育て ～母親教室より～

国際エンゼル協会では海外への支援の他に、国内の青少年育成事業の一環として母親教室を行っています。その講師として、故・仲島武子先生には当協会の発足当初より様々な形で多くのボランティアの方に教育相談をしていただきました。その時々にお聞きしたお話をこの度一冊の本にしました。現在子育てに悩んでいる方、これからお母さんになる方、また教育関連のお仕事をされている方など、この本が少しでもお力になればと思います。お母さんの力で多くの子ども達が楽しく、夢と希望を持って成長することを願っています。



定価：700円(消費税込)
発行：アートビレッジ

～本の出版について、仲島武子先生の御子息で教育サポーターとして次世代の教育現場に関わる人材育成に尽力されている仲島正教先生よりコメントをいただきました～

2018年4月に他界した母が生前に話していた言葉を、国際エンゼル協会の代表理事の東村真理子さんが中心となって一冊の本として出版してくださいました。

国際エンゼル協会を設立した川村百合子さんと私の母は姉妹のように仲よくしていました。(元々は、母が川村さんの娘さんを担任したことにつながります) そういう関係もあり、私の母も国際エンゼル協会に関わるようになりました。そしていつのころからか、国際エンゼル協会が「母親教室」が開設され、母が支援に関わってくださる皆さんの子育て相談をするようになりました。その長年の子育て相談の記録を今回東村さんたちがまとめて下さいました。

その母親教室の記録を読んで、私は本当に驚きました。というか私の母は本当に凄い人だったのだなと感動してしまうのです。自分の母をほめるのは、おかしいかもしれませんが、私の母はホント素敵な人でした。心から尊敬します。この母に育てられたことを、私は誇りに思うし幸せに思います。「お母さん、ありがとう」そして、母の言葉を本にして多くの方にお伝えできるようにしていただき、本当にありがとうございます。天国で母もとても喜んでいいると思います。

国際エンゼル協会理事
教育サポーター 仲島 正教

「楽しい子育て
～母親教室より～」は
国際エンゼル協会事務所に
販売しております



混声合唱団「エンゼル」



混声合唱団に携って11年、皆さんの意識も高まりとても上達してきました。これからも心と声を調和させ素敵なハーモニー作りを目指していきたいと思っています。(K)

コーラスもボランティアの目標の一つです。体調を整えながら続けてきました。(H)



音程の定まらない私に繰り返し繰り返し教えていただき、今では歌うのが楽しくなってきました。(K)

日頃は自分中心の生活ですが、コーラスを通して協調性が身につけてきました。努力することを学ばせてもらっています。(I)

コーラスを始めて10年が経ちました。練習が辛い時もありますが、コンサートを終えた後はコーラスを続けて良かったといつも思います。これからも体力が続くかぎり歌ってみたいです。(H)

コーラスの輪の中で、皆さんの優しい心をいただいております。(I)



混声合唱団「エンゼル」では色々勉強になっています。コーラスの基本は楽譜を持たないことです。大変ですがこれからも頑張ります。(O)

混声合唱団「エンゼル」は誰か一人が上手で皆さんを引っ張っていくのではなく、心を合わせて一緒に作り上げていく、まさしくボランティアを長年続けてこそそのハーモニーといえるのではないのでしょうか。指揮者、団員、伴奏者のトライアングルでこれからも心癒される歌声を届けられるよう皆さんと頑張りたいと思います。(T)



男性メンバーは土曜日に練習を行っています。目の不自由な方もいますが、楽譜等全て暗記して頑張っています。今回のコンサートも皆で調和の取れた歌声を会場の皆さんにお届けします。(M)

最初は澄んだ高音が出ないと悩んだりしましたが、練習で少しずつできるようになりました。コーラスは私にとって人生の宝物です。(K)

農村の学校にトイレ設置の ご協力をお願いします

一人でも多くの子ども達が学校へ通えるように

バングラデシュではトイレの普及が遅れており、農村ではいまだに木を組んでまわりを布で囲っただけという簡素なトイレが多く見られます。本協会では1996年より農村地域でのトイレ設置の普及に取り組んでいます。(2018年12月現在で284基設置) なかでも特に必要とされる学校での設置に力を入れています。



木に囲いをしただけのトイレ

農村の学校にはいまだにトイレが無かったり、生徒数約300名の学校でトイレが1つしかないなど、深刻な状況です。1つのトイレを男女共用で使う学校では休み時間はいつも混んでおり、男子生徒と一緒にトイレに並ぶのを恥ずかしがって女子生徒が学校に行かなくなってしまうということもあります。



新しいトイレと井戸

トイレの横に4mの深さの浄化槽用の穴を設置して手入れをすれば20年以上使えるのでとても役立つ援助となります。また、トイレを使った後に手洗いができるよう手押し式井戸も同時に設置しています。バングラデシュの子ども達が安心して学校へ通えるようトイレ募金のご協力をお願いします。



トイレが完成し喜ぶ生徒達

トイレ1基(井戸付)
10万円



●トイレのドアには寄付していただいた団体もしくは個人のお名前を書き入れさせていただきます。

●トイレ等の寄付のお問合せは国際エンゼル協会事務所までお願いいたします。

DCEFだより 奨学生からの便り —バングラデシュ



こんにちは。コミラビクトリア公立大学歴史学科3年のアフサナ・アクタです。私が6年生の時の2006年から国際エンゼル協会の奨学金をいただくようになりました。本当に長い間支援していただき、国際エンゼル協会の皆さんには感謝しかありません。

私の父は道端でタオルや衣類などを売って生計を立てていますが、3人の子どもの教育費を稼ぐのはとても大変でした。それだけに国際エンゼル協会の奨学金支援は私達家族にとって非常にありがたく感じています。

この奨学金は私のような学生にとって、自分の夢の実現を可能にしていく励みになります。そしてこのような有意義な支援が人の人生を大きく変えてくれることを学びました。私は大学を卒業したら社会に出て働き、微力ながら私のような貧しい学生が教育を受けられるように支援したいという夢があります。国際エンゼル協会のボランティアの皆さんに心から御礼を申し上げます。



アフサナ・アクタ
(コミラビクトリア公立大学 歴史学科3年生)

DCEF (ディセフ)とは…
[Developing Country Educational Fund]

経済的に恵まれない発展途上国の子ども達に教育援助を行う里親制度。奨学資金の供与や学校校舎の建設・設備の充実、農村女性を対象にした識字教室等を行っています。また、バングラデシュ以外に、フィリピン、スリランカなどの子ども達にも支援しています。

ノクシカタ刺しゅう新製品紹介

フラットポーチ

●サイズ 21cm×29cm…………… **1,500円**

バッグの中で散乱しそうな小物をまとめて整理するのに最適なポーチです。ファスナーも大きく開き、中が良く見えます。バッグインバッグとしてもご利用ください。



丸底きんちゃく

●サイズ 24cm×15cm×底径9.5cm… **1,400円**

素朴で色鮮やかなモチーフがちりばめられた丸底きんちゃくが新しくできました。ペットボトルや水筒、哺乳瓶などが入る縦長のきんちゃくです。楽しいお出かけのお供にお使いください。



国際エンゼル協会事務所の他、各地でノクシカタ刺しゅう製品の販売を行っています。